

2020年5月21日

各位

会社名 フィーチャ株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 脇 健一郎
問合せ先 管理部長 立花 嵩大
(TEL.03-6907-0312)

2020年6月期の業績予想について

2020年6月期（2019年7月1日～2020年6月30日）における当社グループの業績予想は、次のとおりであり、また最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【連結】

（単位：百万円、%）

項目	決算期	2020年6月期 (予想)		2020年6月期 第3四半期累計期間 (実績)		2019年6月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率	対売上 高比率	対売上 高比率	対売上 高比率	対売上 高比率
売上高		403	100.0	142.7	311	100.0	282
営業利益		72	18.0	—	78	25.1	△3
経常利益		63	15.7	—	74	24.0	△5
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益		41	10.3	—	52	16.8	△8
1株当たり当期（四半 期）純利益又は1株當 たり当期純損失（△）		7円90銭			9円98銭		△1円56銭
1株当たり配当金		—			—		—

- （注）1. 2019年6月期（実績）及び2020年6月期第3四半期累計期間（実績）の1株当たり四半期純利益又は1株当たり当期純損失は、期中平均発行済株式数により算出しております。
2. 2020年6月期（予想）の1株当たり当期純利益は、公募株式数（150,000株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーラロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分（最大87,000株）を考慮しておりません。
3. 2019年11月30日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。上記では、2019年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期（四半期）純利益又は1株当たり当期純損失を算出しております。

ご注意： この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいたうえで、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

【2020年6月期業績予想の前提条件】

1. 当社グループの見通し

当社グループは、「Make Things Intelligent」をミッションに掲げ、画像認識ソフトウェアの開発を行っております。当社グループが属する画像認識ソフトウェア業界においては、自動車向け先進運転支援システム（ADAS）の普及や自動運転技術の実用化に向けて自動車関連企業各社が取り組みを強化しています。こうした環境の中で、当社グループは新規案件の獲得及びディープラーニングをはじめとした画像認識技術の研究開発を積極的に進めてまいりました。

この結果、2020年6月期の業績は、売上高403百万円（前連結会計年度比42.7%増）、営業利益72百万円（前連結会計年度は営業損失3百万円）、経常利益63百万円（前連結会計年度は経常損失5百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益41百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失8百万円）を見込んでおります。なお、当該業績予想は、当期首から2020年3月までの実績値に、2020年4月から2020年6月までの3か月間の予測値を合算して算出しており、2020年5月7日に開催した取締役会にて決議を行っております。

2. 業績予想の前提条件

（1）売上高

当社グループは、画像認識ソフトウェア開発事業の単一セグメントですが、その売上高は、受託開発収入及びライセンス収入から構成されます。分類ごとの売上高の予想を算出するうえで勘案した前提条件は以下のとおりであります。

①受託開発収入

受託開発収入は、契約金額及び納期が確定している受注済案件並びに受注確度の高い案件の積み上げにより策定しております。受注確度の高い案件については、既存顧客からのヒアリングを基に、受注予定金額及び予定納期を見積もったうえで、受注予定金額に受注確度に応じた係数を乗じて、予想売上高を算出しております。また、予定納期が期末日付近となっている案件については、過去の期ずれ実績に基づき、期ずれリスクを加味しております。

②ライセンス収入

ライセンス収入は、業績予想策定段階において量産済みの案件について、既存顧客からのヒアリングを基に、案件別に販売単価及び販売台数を見積もって算出しております。販売単価には契約単価を使用し、販売台数は過去の販売実績及び今後の販売予測を基に策定しております。

以上の結果、2020年6月期の売上高は403百万円（前期比42.7%増）を見込んでおります。

ご注意： この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいたうえで、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

（2）売上原価、売上総利益

売上原価の主な費目は、人件費及び経費であります。

人件費については、部署別の計画人員数に1人当たりの予想人件費を乗じて算出しております。

経費については、過去の実績及び今後の予測を参考に、原則として積み上げ方式により算出しております。

以上の結果、2020年6月期の売上原価は121百万円（前期比31.2%増）、売上総利益は281百万円（前期比48.3%増）を見込んでおります。

（3）販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費の主な費目は、人件費及び経費であります。

人件費については、人員計画を基に、部署別に計画人員数に1人当たりの予想人件費を乗じて算出しております。

経費については、過去の実績及び今後の予測を参考に、原則として積み上げ方式により算出しております。

以上の結果、2020年6月期の販売費及び一般管理費は209百万円（前期比8.1%増）、営業利益は72百万円（前連結会計年度は営業損失3百万円）を見込んでおります。

（4）営業外損益、経常利益

営業外収益は、当期首から2020年3月までの実績値及び以後の予想値を合算して算出しております。

営業外費用は、当期首から2020年3月までの実績値及び以後の予想値を合算して算出しており、主に上場関連費用の発生を見込んでおります。

以上の結果、2020年6月期の経常利益は63百万円（前連結会計年度は経常損失5百万円）を見込んでおります。

（5）特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益

特別利益及び特別損失の発生は見込んでおりません。法人税等は繰越欠損金の影響を考慮したうえで算出しており、税務調査による修正申告7百万円を含んでおります。

以上の結果、2020年6月期の親会社株主に帰属する当期純利益は41百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失8百万円）を見込んでおります。

ご注意： この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいたうえで、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

3. 新型コロナウイルス感染症の影響

当社グループの一部顧客は、中国において、当社ソフトウェアが搭載された車載カメラやドライブレコーダー等の製品の生産活動を行っており、新型コロナウイルス感染症の影響で工場の稼働が停止し、一時的に生産量が減少したことにより、当社グループのライセンス収入が落ち込んだ時期がありました。しかしながら、現時点においては、中国の工場は操業を再開していることから、ライセンス収入は平常時の水準に回復しております。また、日本の工場は平常どおり稼働していることを確認しております。以上のことから、本件が2020年6月期の業績に与える影響は軽微であります。

なお、今後開示すべき事象が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経営環境の変化等の様々な要因によって異なる場合があります。

ご注意： この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいたうえで、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。